

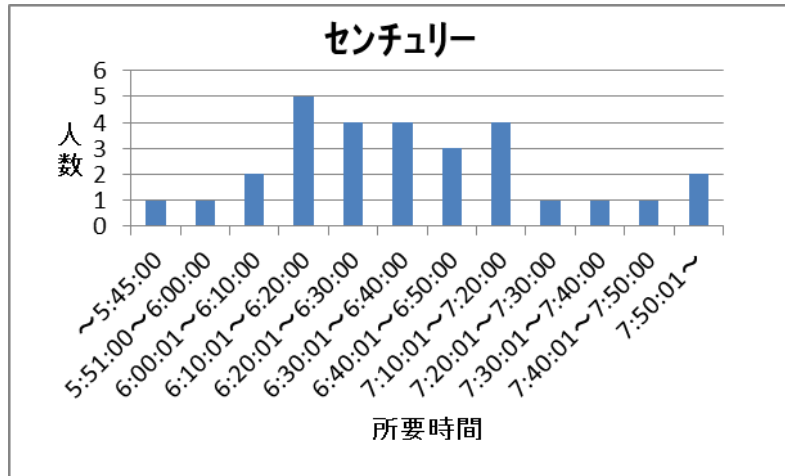
【センチュリーラン終わる】

第29回センチュリーラン埼玉は5月18日、66名がエントリーして協会指定コースに挑戦した。3年続きの好天に恵まれ初夏のサイクリングを楽しんだ。

<リザルト>

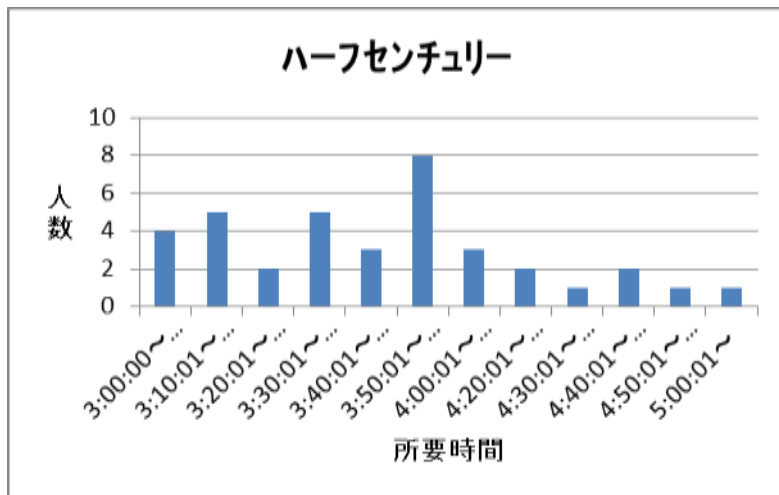
センチュリー

所要時間	人数
～5:45:00	1
5:51:00～6:00:00	1
6:00:01～6:10:00	2
6:10:01～6:20:00	5
6:20:01～6:30:00	4
6:30:01～6:40:00	4
6:40:01～6:50:00	3
7:10:01～7:20:00	4
7:20:01～7:30:00	1
7:30:01～7:40:00	1
7:40:01～7:50:00	1
7:50:01～	2



ハーフセンチュリー

所要時間	人数
3:00:00～3:10:00	4
3:10:01～3:20:00	5
3:20:01～3:30:00	2
3:30:01～3:40:00	5
3:40:01～3:50:00	3
3:50:01～4:00:00	8
4:00:01～4:10:00	3
4:20:01～4:30:00	2
4:30:01～4:40:00	1
4:40:01～4:50:00	2
4:50:01～5:00:00	1
5:00:01～	1



◇第2回山岳サイクリング

期 日 平成26年8月3日(日) ※雨天決行

会 場 秩父ミュージックパーク

集合・スタート 集合=9:00、スタート=9:30~

内 容 規定された自転車で、設定された一般道路を交通法規を厳守して走る。

コース ミューズパーク→黒海土→合角ダム→贅川→浦山ダム→ミュージックパーク (約55.7k)

※ルートを「SCA山岳サイクリング」参照 CP(チェックポイント) ①合角ダム駐車場 ②贅川 ③浦山ダム

参加費 3,000円(SCA登録者は1,000円割引)

申 込 6月10日~7月10日

定 員 100名(先着順)

<注意事項>

参加資格 ①16歳以上の者で自己の責任においてサイクリングのできる者(18歳以下は親の同意が必要)。

②地図が読み自走できる者。(道案内役員はいません)

車種・服装 車両法で定められた保安部品(前照灯、後部反射鏡、警報器等)を装備した自転車(トラックレーサー除く) *必ずヘルメットを着用のこと。

申込方法 所定の申込用紙に必要事項を記入し参加費を添えて協会か最寄りの連絡所へ

免責事項 大会参加中の事故については、参加者の責任とします。

その他 大会中の事故に於ての賠償は参加者全員について主催者側で加入する保険の範囲内とし、被保険者が直接保険会社に請求するものとします。

問合せ ◆埼玉県サイクリング協会

申込先 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎別館

TEL/FAX 048-824-2711 郵便振替 00170-8-56228

連◆芝川サイクル 〒332-0017川口市栄町1-14-11 TEL048-251-0187 FAX048-251-0187

絡

所◆サイクルショップ タニ 〒359-1111所沢市緑町4-5-18 TEL042-922-8351 FAX042-922-8441

○第50回関東甲信越ブロックサイクリングラリー埼玉大会(第54回埼玉県サイクリングラリー)

記念すべき第50回関東ブロックサイクリングラリー埼玉大会と第54回埼玉県サイクリングラリーを同時開催します。秋の比企丘陵を満喫しましょう。

期 日 平成26年9月20日(土)~21日(日)

開 催 地 比企丘陵他 宿泊 ホテル・ヘリテジ(熊谷)

日 程

20日 受付 10時~ 実 走 10時~16時

開会式 18時~ 懇親会 18時30分~

21日 食 事 7時~8時 解 散 9時

会 費 <宿泊パック>

17,000円: JCA・SCA会員(宿泊、保険他)、19,000円: 一般(宿泊、保険他)

<日帰り・懇親会パック>

10,000円: JCA・SCA会員(懇親会、保険他)、12,000円: 一般(懇親会、保険他)

<日帰りパック> *埼玉県サイクリングラリー

2,000円: JCA・SCA会員(保険他)、3,000円: 一般(保険他)

募集人員 300名(宿泊200名、日帰り100名)

参加資格 自己の責任においてサイクリングのできる人。未成年の人は保護者の承諾が必要です。

その他 詳細は開催要項をご覧ください。

≧事務局だより≦

■常任理事会 7月19日(土) 午後6時~ 事務局

■事務局夏休み 8月5日(土)~19日(火)

■7月号は山岳サイクリングやブロックラリーのことがあり繰り上げ発行しました。

『編集後記』

NHKで放映されていた「サイレントプア」、社協のあり方を考えさせられるドラマであった。しかしどこまで社協が入り込んでいけるかが今後の課題だ。地区社協に携わっている私にはとても参考になった9週間であった。